



Cisco Jabber for iPhone and iPad 11.5 ユーザ ガイド

ユーザ ガイド 2

新機能および変更された機能に関する情報 2

はじめに 2

プロフィールとステータス 5

コール 5

連絡先 10

ミーティング 11

ボイス メッセージ 13

チャット 14

設定 16

Cisco Jabber のアイコン 21

Apple Watch での Cisco Jabber の使用 23

トラブルシューティング 25

Revised: January 29, 2016,

ユーザガイド

新機能および変更された機能に関する情報

変更の詳細	日付	参照先
本ユーザガイドは、Cisco Jabber for iPhone and iPad 11.5 リリースの新機能を反映して更新されています。	2015 年 12 月 17 日	
ブロードキャスト IM の送信に関する新規項目を追加	2015 年 12 月 17 日	ブロードキャストメッセージの送信, (16 ページ)
Apple Watch 上の Cisco Jabber アプリでの通話、メッセージング、プレゼンスステータスの設定に関する新規項目を追加	2015 年 12 月 17 日	Apple Watch での Cisco Jabber の使用, (23 ページ)
Apple Watch 上の Cisco Jabber アプリの問題のトラブルシューティングに関する新規項目を追加	2015 年 12 月 17 日	アプリがインストールされない, (31 ページ)

はじめに

設定の準備

デバイスに Cisco Jabber をインストールしたら、システム管理者からサインイン方法とアカウント情報を入手します。



(注) 組織によっては、本書で説明されている機能がすべてサポートされていない場合もあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

簡易サインインを使用した設定

システム管理者は、簡易サインインまたは手動によるサインインのアカウントを設定できます。サインイン手順は、アカウント設定によって異なります。

手順

- ステップ 1 Cisco Jabber を開きます。
 - ステップ 2 ライセンス契約および利用規約を読み、[許可 (Accept)] をタップします。
 - ステップ 3 [Cisco Jabber] 画面を確認し、[今すぐ開始 (Get Started Now)] をタップします。
 - ステップ 4 指示されたら、サーバ証明書を確認します。
証明書を承認してよいかどうか確信がない場合は、管理者に問い合わせてください。
 - ステップ 5 ユーザ名を *username@example.com* の形式で入力します。
 - ステップ 6 [続行 (Continue)] をタップして、画面の指示に従ってサインインします。
-

次の作業

ユーザ名とドメインが認識されない場合は、手動でアカウント情報を設定します。[詳細設定 (Advanced Settings)] から以下のオプションのいずれか 1 つを選択できます。詳細については、次の項を参照してください。

- [Cisco IM and Presence サービスの手動での設定](#), (3 ページ)
- [Cisco WebEx Messenger の手動設定](#), (4 ページ)
- [電話サービスのみの手動設定](#), (4 ページ)

アカウントは、[アカウントタイプの変更 (Change account type)] を使用して手動で変更できます。

Cisco IM and Presence サービスの手動での設定

手順

- ステップ 1 [詳細設定 (Advanced Settings)] をタップします。
 - ステップ 2 [自動 (Automatically)] をオフにし、手動でアカウントにログインします。
 - ステップ 3 [Cisco IM and Presence] をタップします。
 - ステップ 4 [サーバ情報 (SERVER INFORMATION)] で、サーバアドレスを入力します。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をタップします。
 - ステップ 6 ユーザ名とドメインを *username@example.com* の形式で入力します。
 - ステップ 7 [サインイン (Sign In)] をタップします。
サインインすると、Cisco Jabber が開きます。
 - ステップ 8 サーバ証明書の検証を求めるメッセージが表示されたら、管理者に問い合わせ、証明書を承認してもよいかを確認します。
-

Cisco WebEx Messenger の手動設定

手順

- ステップ 1 [詳細設定 (Advanced Settings)] をタップします。
 - ステップ 2 [自動 (Automatically)] をオフにし、手動でアカウントにログインします。
 - ステップ 3 [WebExインスタントメッセージ (WebEx Instant Messaging)] をタップします。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をタップします。
 - ステップ 5 ユーザ名とドメインを *username@example.com* の形式で入力します。
 - ステップ 6 [続行 (Continue)] をタップします。
 - ステップ 7 パスワードを入力します。
 - ステップ 8 [サインイン (Sign In)] をタップします。
サインインすると、Cisco Jabber が開きます。
-

電話サービスのみの手動設定

手順

- ステップ 1 [詳細設定 (Advanced Settings)] をタップします。
 - ステップ 2 [自動 (Automatically)] をオフにし、手動でアカウントにログインします。
 - ステップ 3 [電話サービスのみ (Phone Services Only)] をタップします。
 - ステップ 4 [サーバ情報 (SERVER INFORMATION)] に対して TFTP サーバおよび CCMIP サーバのアドレスを入力します。
 - ステップ 5 [保存 (Save)] をタップします。
 - ステップ 6 ユーザ名とドメインを *username@example.com* の形式で入力します。
 - ステップ 7 [続行 (Continue)] をタップします。
 - ステップ 8 パスワードを入力します。
 - ステップ 9 [サインイン (Sign In)] をタップします。
サインインすると、Cisco Jabber が開きます。
 - ステップ 10 サーバ証明書の検証を求めるメッセージが表示されたら、管理者に問い合わせ、証明書を承認してもよいかを確認します。
-

プロフィールとステータス

プロフィール情報の編集

デバイスからプロフィールの情報と写真を編集できるのは、クラウドベースのインスタントメッセージングとプレゼンスのユーザのみです。プロフィールの情報や写真を編集できない場合は、該当の機能を有効にするようシステム管理者に連絡してください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザプロフィールを選択します。
 - ステップ 2** [編集 (Edit)] をタップして、プロフィール情報を編集します。
 - ステップ 3** デバイスに保存されている写真を選択するか、新規の写真を撮影します。
-

位置情報の共有

手順

-
- ステップ 1** [ステータス (Status)] ウィンドウを選択します。
 - ステップ 2** [モバイルの場合にアイコンを表示 (Show Icon When Mobile)] を選択します。
(注) モバイルとデスクトップで別の位置情報を設定している場合は、デスクトップの位置情報が優先されます。
-

コール

電話サービス アカウント

Cisco Jabber で通話する場合、アプリは勤務先電話番号を使用し、その番号を通話相手に表示します。

アカウントの設定方法によっては、異なる方法で電話をかけることができます。

システム管理者が DVO 機能を有効にしているかどうかを確認するには、アカウント設定を確認します。

•

次の表に、VoIP 通話と DvO 通話の動作を比較した結果を示します。

表 1: VoIP 通話と DvO 通話の動作比較

	VoIP	DVO
使用するネットワーク	Wi-Fi またはモバイル データ ネットワーク	モバイル ボイス ネットワーク
最大同時通話数	2 同時にアクティブにできる通話は 1 件だけです。もう 1 件は自動的に保留になります。	1
通話中の機能 (保留、会議など)	使用可能	使用不可
着信通話	Cisco Jabber で開く	ネイティブの電話アプリで開く
発信通話	入力した番号が Cisco Jabber によってただちにダイヤルされる	入力した番号がダイヤルされる前に、社内通話システムによりコールバックされる

次の表に、電話サービス アカウントの設定に基づいて Cisco Jabber の [設定 (Settings)] メニューで設定可能な、通話設定のリストを示します。

表 2: 通話設定

アカウントの状態	変更できる Cisco Jabber の設定
ビデオが有効	[自動的に送信 (Send Automatically)] : この設定を使用して、通話のビデオのオン/オフを自動的に切り替えます。 [モバイルデータネットワーク (Mobile Data Network)] : この設定を使用して、モバイル データ ネットワーク 使用時のビデオを自動的にオンまたはオフにします。 (注) 低帯域幅モードを有効にしている場合、これらのオプションは利用できません。
DVO が無効	[低帯域幅モード (Low-Bandwidth Mode)] : この設定を使用すると、低帯域幅ネットワークに接続されている間に VoIP 通話を発信するとき、音声 が最適化されます。

アカウントの状態	変更できる Cisco Jabber の設定
DVO が有効	<p>[通話オプション (Calling Options)] : Cisco Jabber で常に VoIP 通話を発信するか、常にモバイル ボイス ネットワークを使用して通話するか、ネットワーク接続に基づいて通話方法を自動的に選択するかを指定します。</p> <p>[低帯域幅モード (Low-Bandwidth Mode)] : VoIP を使用する通話オプションを選択した場合は、Cisco Jabber に [低帯域幅モード (Low-Bandwidth Mode)] 設定が表示されます。この設定を使用すると、低帯域幅ネットワークへの接続中に VoIP 通話を発信する場合、音声最適化されます。</p>

Dial via Office (DvO) を使用した通話の発信

VoIP を使用していない場合は、Dial via Office (DVO) を使用して通話を発信できます。

手順

-
- ステップ 1** キーボード画面で、番号をダイヤルします。
 - ステップ 2** [発信 (Call)] をタップします。
社内通話システムより、モバイル ボイス ネットワーク経由でコールバックされます。
 - ステップ 3** [応答 (Answer)] をタップして通話を受け入れます。
 - ステップ 4** 指示に従って、キーボードで番号を押します。
通話の受け入れ後、社内通話システムはダイヤルされた番号に発信します。DVO 通話がネイティブの電話アプリケーションで開きます。
-

通知の設定

手順

-
- ステップ 1** デバイスで [設定 (Settings)] > [通知センター (Notifications)] > [Jabber] を選択します。
 - ステップ 2** [通知の許可 (Allow Notifications)] を有効にします。
 - ステップ 3** 希望のアラートスタイルを選択します。
-

Jabber 間通話の発信

Jabber 間の音声コールやビデオ コールを発信することで、2 つの Jabber クライアントの間で通話できます。ただし、Jabber 通話を使用する場合、いくつかの違いがあります。

- Jabber 間通話は、一度に単一の連絡先とだけ行うことができます。
- Jabber 間での通話中に別の連絡先に通話を発信することはできません。
- 自分と自分の発信先が同時に Jabber 間通話を開始すると、通話は自動的に接続されますが、他の着信は通知されなくなります。
- モバイル通話中は、Jabber 間通話に応答できません。Jabber 間通話の着信は、不在着信としてリストされます。
- Jabber 間での通話中に iPhone で着信モバイル通話を受信すると、その通話に応答しないとしても、Jabber 間通話が即時に終了されます。

はじめる前に

この機能は、システム管理者がユーザ アカウントに対して有効にする必要があります。

手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] 画面で、通話を発信する連絡先の横にある  をタップします。

ステップ 2 連絡先の [プロフィール (Profile)] 画面で、[Jabber通話 (Jabber Call)] をタップします。

通話中の機能

通話のマージ

マージ機能を使用して、既存の通話 2 件をマージして電話会議にします。

次の手順は、Cisco Jabber VoIP 通話にのみ適用されます。マージ機能は DVO 通話では使用できません。

- 1 通話中の表示で  をタップします。
- 2 [通話のマージ (Merge Calls)] をタップします。
- 3 [OK] をタップします。
- 4 (オプション)  をタップして、会議の参加者リストを表示します。

モバイル ネットワークへの通話の移動

Cisco Jabber VoIP 通話中に通話品質に問題が発生した場合、その通話をモバイル ネットワークに移して、携帯電話で通話を受けることができます。

次の手順は、Cisco Jabber VoIP 通話にのみ適用されます。この機能は DVO 通話では使用できません。

- 1 通話中の表示で  をタップします。
- 2 [携帯電話に移動 (Move to Mobile)] をタップします。
- 3 [OK] をタップします。
- 4 デバイスの呼び出し音が鳴ったら、[応答 (Answer)] をタップします。



(注) 管理者が、サーバで [モバイルネットワークに転送 (Transfer to Mobile Network)] オプションを有効にしている必要があります。

遠端カメラの制御

遠端カメラ制御をサポートする通話では、ビデオ コール中によく見えるように相手先カメラを調節できます。また、カメラの会議レイアウトを制御することもできます。 [遠端カメラの制御の表示 (Show Far End Camera Control)] アイコンは、遠端カメラの制御が有効になっている場合に通話で表示されます。 このアイコンを選択すると、通話が接続されている方法に応じて、この機能を使用して遠端カメラの移動、またはビデオ スクリーンの会議レイアウトの変更ができます。

制御可能カメラが備わったデバイスを所有する部門または個人と直接通話する場合、同時に複数のユーザがそのデバイスと通話していても相手先カメラを制御できます。 一方、ブリッジに発信する場合、会議レイアウトの制御のみを行います。これは、いくつかのカメラの映像を電話会議に表示する方法を選択することによって制御します。

はじめる前に

通話に使用しているシステムが遠端カメラ制御 (FECC) をサポートしていることを確認します。 この機能はビデオ会議管理者によって有効にされる必要があります。

手順

ステップ 1 ビデオ コールを開始した後で、 [遠端カメラ制御の表示 (Show Far End Camera Control)] アイコンを選択します。

ステップ 2 パン、チルト、およびズームのボタンを使用して通話を制御します。

- デバイスに直接コールしている場合は、コントロールを使用してカメラの左右のパン、上下の傾斜、ズームイン/ズームアウトを実行します。
- ブリッジにコールしている場合は、コントロールを使用して、目的の会議レイアウトを選択します。

オプション	説明
上に傾ける	上矢印キー
下に傾ける	下矢印キー
左にパン	左矢印キー
右にパン	右矢印キー
拡大	+ 記号
縮小	- 記号

コールパークの使用

アクティブな通話中に、コールパーク内線番号（別のオフィスや会議室にある電話など）に対して通話を保留できます。システム内の別の電話からコールパーク内線番号にダイヤルして、その通話を受けることができます。

現在の通話を保留にして別のデバイスに転送したり、一時的に保留にしたりできます。

手順

ステップ1 通話中のオプションから、[その他 (More)] > [パーク保留 (Park)] を選択します。

ステップ2 他のデバイスから通話を取得するか、現在のデバイスで通話を再開します。

連絡先

新しい連絡先グループの追加

Cisco Jabber for iPhone and iPad では、アプリケーションに新しいグループを追加できます。

この機能の利用には、システム管理者による有効化が必要です。新しい連絡先グループを作成できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

手順

ステップ1 [連絡先 (Contacts)] 画面で + をタップします。

ステップ2 [グループを作成 (Create Group)] をタップします。

ステップ3 新しい連絡先グループの名前を入力して、[作成 (Create)] をクリックします。
新しい連絡先グループが、連絡先リストに表示されます。

ディレクトリグループの追加

ディレクトリグループの保守は、企業の管理者が実行しています。連絡先リストにディレクトリグループを追加すると、ディレクトリグループに割り当てられた連絡先のリストが自動的に連絡先のグループに追加されます。連絡先のリストは自動的に企業のディレクトリと同期される、つまり管理者が企業のディレクトリで追加または削除を実行した

場合、その内容は必ず連絡先のグループに反映されるため、ユーザがリストの保守を行う必要はありません。連絡先リストのディレクトリ グループの追加または削除は、Cisco Jabber でいつでも実行できます。

連絡先の件数が 100 を超えたディレクトリ グループでは、どの連絡先のプレゼンスも表示されません。

はじめる前に

この機能の利用には、システム管理者による有効化が必要です。ディレクトリ グループを追加できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

手順

-
- ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] 画面で + をタップします。
 - ステップ 2** [ディレクトリグループの追加 (Add Directory Group)] をタップします。
重要 連絡先のリストに追加できる連絡先は最大 1000 件です。
 - ステップ 3** 追加するグループの名前を [ディレクトリグループの追加 (Add Directory Group)] に入力します。
 - ステップ 4** [完了 (Done)] をタップします。
ディレクトリ グループのすべての連絡先が連絡先リストに追加されます。
-

連絡先グループの削除

Cisco Jabber for iPhone and iPad では、チャット アプリケーションから既存の連絡先グループを削除できます。

この機能の利用には、システム管理者による有効化が必要です。既存の連絡先グループを削除できない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

手順

-
- ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] 画面で、削除する連絡先グループをタップしてホールドします。
 - ステップ 2** [削除 (Remove)] をタップして連絡先グループを削除します。
連絡先リストから連絡先グループが削除されます。
-

ミーティング

プライベート テレプレゼンス ブリッジの設定

Cisco WebEx のアカウントで Collaboration Meeting Rooms 機能が有効になっていない場合は、電話会議にプライベート テレプレゼンス ブリッジを使用できます。



(注)

手順

- ステップ 1 [設定 (Settings)] 画面で [会議ブリッジ (Conference Bridge)] をタップします。
 - ステップ 2 [自分の会議サービスを使う (Use My Conference Service)] オプションを選択します。
 - ステップ 3 ブリッジ会議番号と PIN 番号を入力します。
 - ステップ 4 [適用 (Apply)] をタップします。
電話会議の実行用にプライベートテレプレゼンスブリッジが設定されます。
-

グループチャットの Collaboration Meeting Room へのエスカレーション

グループチャットを行っている場合は、グループチャットのすべての参加者との電話会議を開始できます。

はじめる前に

Cisco WebEx クライアントバージョン 8.0 以降がインストールされていて、電話会議用に設定されていることを確認します。

アカウントで Collaboration Meeting Room へのアクセスが有効になります。



(注) Collaboration Meeting Room へのアクセスが有効にならない場合であっても、プライベートテレプレゼンスブリッジの設定が電話会議用に設定されていれば、ユーザはテレプレゼンスブリッジ番号を使用して電話会議を行えます。

Cisco Jabber for iPhone and iPad をインストールする前に、必ず WebEx クライアントをインストールしてください。

手順

- ステップ 1 iPhone の場合は、[グループチャット (Group Chat)] ウィンドウで + をタップします。
 - ステップ 2 参加者を電話会議に招待します。
 - a) iPhone の場合は、 をタップして電話会議を開始するか、 をタップして WebEx Meeting を開始します。
 - b) iPad の場合は、 をタップして電話会議を開始するか、 をタップして WebEx Meeting を開始します。
- 電話会議に接続され、参加者に電話会議または WebEx Meeting への参加を呼び掛ける招待が送信されます。
-

パーソナル ルームを使用したインスタント ミーティングの開始

はじめる前に

Cisco WebEx クライアント バージョン 8.0 以降がインストールされていて、電話会議用に設定されていることを確認します。

Cisco WebEx は、すべてのインスタント ミーティングでパーソナル ルームを使用するように設定されています。

手順

-
- ステップ 1** インスタント ミーティングに招待する連絡先のチャット ウィンドウを開き、+ をタップします。
- ステップ 2**  をタップします。または、連絡先のプロフィールで [WebEx ミーティング (WebEx Meeting)] をタップして、パーソナル ルームを使用してインスタント ミーティングを開始できます。パーソナル ルームに接続され、参加者に会議への参加を呼び掛ける招待が送信されます。
-

ボイス メッセージ

ボイス メール アカウント

システム管理者は、ボイス メール アカウントのビジュアルボイス メールを有効にすることができます。ビジュアルボイス メールでは、音声指示に対応する代わりに、デバイスの画面を使用してメッセージを操作します。ボイス メールボックスにダイアルせずに、メッセージの一覧を表示できます。

ボイス メッセージから通話を返す

手順

-
- ステップ 1** [ボイスメッセージ (Voice Messages)] 画面で、メッセージの横にある  をタップします。
- ステップ 2** ボイスメッセージの [詳細 (Details)] 画面で [かけ直す (Call Back)] をタップします。Dial via Office (DVO) を使用している場合は、次の手順に従います。
- [応答 (Answer)] をタップして通話を受け入れます。
 - 指示に従って、キーパッドで番号を押します。
- 通話を受け入れると、社内通話システムによってかけ直しが実行されます。DVO 通話がネイティブの電話アプリケーションで開きます。
-

ボイスメッセージからのテキストの送信

この手順は、ボイスメールアカウントにビジュアルボイスメールが設定されている場合に使用できます。

手順

ステップ1 [ボイスメッセージ (Voice Messages)] 画面で、メッセージの横にある  をタップします。

ステップ2 ボイスメッセージの [詳細 (Details)] 画面で [テキストメッセージ (Text Message)] をタップします。

ボイスメッセージからのチャットの開始

この手順は、ボイスメールアカウントにビジュアルボイスメールが設定されている場合に使用できます。

手順

ステップ1 [ボイスメッセージ (Voice Messages)] 画面で、メッセージの横にある  をタップします。

ステップ2 ボイスメッセージの [詳細 (Details)] 画面で [チャット (Chat)] をタップします。

チャット

チャットセッション中の通話の発信

手順

ステップ1 チャット会話中に、iPhone の場合は  を、iPad の場合は  をタップします。

ステップ2 iPhone の場合は、[発信 (Call)] をタップします。

ステップ3 電話をかける番号をタップします。

チャットセッション中の WebEx Meeting の開始

手順

ステップ 1 チャット会話中に、iPhone の場合は + を、iPad の場合は  をタップします。

ステップ 2 iPhone の場合は、 をタップします。

チャットセッション中のファイルの転送

システム管理者がこの機能を有効にしている場合は、チャットセッション中にファイルの転送を開始できます。

手順

ステップ 1 チャットウィンドウで、+ ボタンを選択します。

ステップ 2 提示されるオプションの中から、ファイルタイプを選択します。

ステップ 3 デバイスからファイルタイプを選択します。
ファイルはデバイスに保存するか、画像やビデオの転送時にキャプチャすることができます。

ステップ 4 ファイルが転送されるまで待ちます。

チャットセッション中の転送ファイルの受信

システム管理者がファイル転送を有効にしている場合は、チャット参加者からファイルを受け取ることができます。

手順

ステップ 1 プロンプトが表示されたら、[承認 (Accept)] を選択します。

ステップ 2 ファイル転送が完了するまで待ちます。

グループチャットを開始

グループチャットを使用して、一度に2人以上の連絡先にインスタントメッセージを送信できます。グループチャットは常設されません。つまり、グループチャットを使用して2人以上の人とのチャットを作成できますが、履歴は保存されません。

手順

-
- ステップ 1** グループチャットは、[チャット (Chats)] 画面から開始するか、グループチャットの参加者とのチャット ウィンドウを開くことで開始することができます。連絡先リストのグループ内の連絡先とグループチャットを開始する場合は、グループ連絡先のヘッダーを押してホールドします。
- ステップ 2** チャット ウィンドウを開いている場合は、**+**、**+** の順にタップして参加者を追加します。[チャット (Chats)] 画面を表示している場合は、**+** をタップします。
- ステップ 3** [宛先 (To:)] 検索領域に、グループチャットに追加する連絡先の名前を入力します。
- ステップ 4** [トピック (Topic)] をタップしてグループチャットのトピックを指定します。
- ステップ 5** [完了 (Done)] をタップします。
-

ブロードキャストメッセージの送信

手順

-
- ステップ 1** 連絡先リストで、IM の送信先とするグループのグループヘッダーを長押しします。
- ステップ 2** [ブロキャメ送信 (Send Broadcast Message)] をタップします。
[ブロキャメ送信 (Send Broadcast Message)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 3** テキストボックスにメッセージを入力します。ブロードキャストメッセージにさらに受信者を追加する場合は、[宛先 (To)] フィールドで連絡先を検索して追加できます。また、ブロードキャスト IM を送信しない連絡先を [宛先 (To)] フィールドから削除することもできます。
- ステップ 4** [送信 (Send)] をタップします。
-

設定

低帯域幅モードの設定

Cisco Jabber で、オーディオを低帯域幅ネットワーク用に最適化するために低帯域幅モードが使用されています。これにより、VoIP 通話の通話品質が改善される可能性があります。

システム設定の詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

はじめる前に

次のいずれかが該当する必要があります。

- 管理者が、異なるコーデックを使用するデバイス間の通話を処理するようにシステムを設定している

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] 画面の [発信 (Call)] で、[音声とビデオ (Audio and Video)] をタップします。

ステップ 2 [オーディオ (Audio)] で、[低帯域幅モード (Low Bandwidth Mode)] をオフに設定します。

(注) 同じ低域幅コーデックをサポートしていないデバイスに電話をかけると、以下のいずれかの問題が発生する場合があります。

- 音声がかえらない
- 通話がすぐに切断される

呼出音の設定

iPhone または iPad に用意されている呼出音とは別の呼出音を設定する場合は、Cisco Jabber の呼出音を設定できます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] 画面の [一般 (General)] タブで、[サウンド (Sounds)] をタップします。

ステップ 2 [着信音 (Ringtone)] をタップして、使用する呼出音を選択します。
着信通話を受信すると、選択した呼出音が再生されます。

通話オプションの設定

はじめる前に

次の手順は、Dial Via Office (DVO) 機能が有効になっている電話サービス アカウントにのみ適用されます。

手順

ステップ 1 [設定 (Settings)] 画面の [発信 (Call)] で [通話オプション (Calling Options)] をタップします。

ステップ 2 オプションを選択します。

オプション	説明
[Voice over IP]	常にモバイル データ ネットワークまたは Wi-Fi ネットワーク経由で VoIP 通話を発信します。

オプション	説明
[モバイルボイスネットワーク (Mobile Voice Network)]	常にデバイスのモバイルボイスネットワーク経由でDVO コールを発信します。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。
[自動選択 (Autoselect)]	ネットワーク接続に基づいて、Cisco Jabber が自動的に VoIP またはモバイルボイスネットワークを選択します。 DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。

ステップ3 [モバイルボイスネットワーク (Mobile Voice Network)]または[自動選択 (Autoselect)]を選択した場合は、[DVOコールバック番号 (DVO Callback Number)]セクションに正しいコールバック番号（通常は携帯電話番号）が入力されていることを確認します。

代替 Dial via Office (DvO) コールバック番号の追加

DVO を使用すると、社内通話システムがすべての通話を開始するためにコールバックします。DVO コールバック番号は、通常、ユーザの携帯電話番号です。

手順

- ステップ1** [設定 (Settings)]画面の[発信 (Call)]で[通話オプション (Calling Options)]をタップします。
- ステップ2** [DVOコールバック番号 (DVO Callback Number)]セクションで、[代替番号を使用 (Use alternate number)]をタップします。
- ステップ3** 代替DVO コールバック番号を入力します。
- ステップ4** [保存 (Save)]をタップします。

ボイスメールアカウントの設定

はじめる前に

システム管理者からアカウント情報を取得します。ボイスメールアカウントの場合は、ユーザ名、パスワード、サーバアドレス、（場合によっては）ポートが必要です。

手順

- ステップ1** [設定 (Settings)] 画面の [アカウント (Accounts)] で [ボイスメール (Voicemail)] をタップします。
- ステップ2** システム管理者から取得したアカウント情報を入力します。
- ステップ3** [保存 (Save)] をタップします。
-

通知と免責条項の表示

手順

- ステップ1** [設定 (Settings)] 画面の [ヘルプ (Help)] で [バージョン情報 (About)] をタップします。
- ステップ2** [通知と免責条項 (Notices and Disclaimers)] をタップします。
- ステップ3** 次のいずれかのオプションをタップして、関連コンテンツを表示します。
- 緊急電話番号に関する通知
 - オープンソースに関する通知
 - 問題レポートツールに関する通知
 - 暗号化に関する通知
 - 使用状況とエラーのトラッキング
-

シスコへのフィードバックの送信

はじめる前に

- お使いのデバイスのメールアプリケーションを設定します。
- システム管理者からエラー報告用のメールアドレスを取得します。

手順

- ステップ1** [設定 (Settings)] 画面の [ヘルプ (Help)] を表示します。
- ステップ2** [ヘルプ (Help)] で、[シスコにフィードバックを送信する (Send Feedback to Cisco)] をタップします。メールアプリケーションが開いて新しいメッセージが表示されます。

ステップ3 フィードバックを入力します。

ステップ4 [送信 (Send)] をタップします。

ユーザガイドの表示

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] 画面の [ヘルプ (Help)] で [ユーザガイド (User Guides)] をタップします。

ステップ2 次のいずれかのオプションをタップして、関連コンテンツを表示します。

オプション	説明
クイックスタートビデオ	Cisco Jabber の機能と利点を紹介するビデオ ツアー。
クイック スタート ガイド	Cisco Jabber に初めてサインインしていくつかの主要な機能を使用するための手順。
ユーザ ガイド	Cisco Jabber を使用するための詳細な手順。

問題レポートの送信

はじめる前に

- お使いのデバイスのメール アプリケーションを設定します。
- システム管理者からエラー報告用のメールアドレスを取得します。

手順

ステップ1 [設定 (Settings)] 画面の [ヘルプ (Help)] の下で、[問題レポートツール (Problem Reporting)] をタップします。

ステップ2 [詳細ログ (Detailed Logging)] をタップして、有効にします。

ステップ3 問題を再現します。

ステップ4 [問題レポートを送信 (Send Problem Report)] 電子メールをタップします。
Cisco Jabber によってメール アプリケーションが起動し、件名が自動入力された新しいメッセージが作成されて、ログ ファイルが添付されます。

ステップ5 E メール メッセージの本文に問題の説明を入力し、システム管理者に送信します。

ヒント

次の作業



重要 バッテリとストレージ領域の消費を抑えるため、[**詳細ログ (Detailed Logging)**] が不要になった際には、この機能をオフにします。

Cisco Jabber のアイコン

チャットコントロール

表 3: チャットコントロール

ボタン	説明
	絵文字を表示します。
	グループチャットに参加者を追加します。
	グループチャットのすべての参加者を表示します。
 (注) このボタンは iPhone でのみ使用できます。	その他のオプションを表示します。このメニューを使用して、チャットを通話または Cisco WebEx ミーティングに切り替えることができます。
 (注) このボタンは iPhone でのみ使用できます。	キーボードを表示します。

マーク表示のステータスアイコンの設定

デフォルトで、Cisco Jabber は標準的なステータスアイコンを使用します。色を識別できないユーザは、モノクロの記号を用いたマーク表示のステータスアイコンを使用するようにアプリを設定できます。

表 4: マーク表示のステータス アイコンの使用

標準的なアイコン	マーク表示アイコン	説明
		応答可能
		退席中
		着信拒否
		オフライン

マーク表示のステータスアイコンを使用するには、[設定 (Settings)] > [表示 (Display)] を選択して [ユーザ補助アイコン (Accessibility Icons)] スイッチをオンにします。

ボイス メッセージ アイコン

表 5: ボイス メッセージ アイコン

アイコン	説明
	未開封メッセージ
	重要なメッセージ
	セキュア メッセージ
	プライベート メッセージ

iPhone および iPad の設定アイコンへのアクセス

アイコン	説明
	ナビゲーション ドロワーを開き、Cisco Jabber for iPhone and iPad のメニュー オプションにアクセスします。
	iPad で、[設定 (Settings)] 画面を開きます。

Apple Watch での Cisco Jabber の使用

Cisco Jabber のインストール

はじめる前に

- iPhone に iOS 9 以降がインストールされていることを確認します。
- Apple Watch に watchOS 2 以降がインストールされていることを確認します。
- iPhone に Cisco Jabber for iPhone and iPad がインストールされていることを確認します。

手順

Apple Watch でサードパーティ製アプリを設定する際は、[すべてをインストール (Install All)] または [後で選択 (Choose Later)] のいずれかを選択できます。

- [すべてをインストール (Install All)] を選択すると、iPhone にインストールされている、Cisco Jabber を含むすべての Apple Watch 対応アプリが自動的に Apple Watch と同期されます。
- [後で選択 (Choose Later)] を選択した場合は、iPhone 上のサードパーティ製アプリを手動で Apple Watch と同期させる必要があります。iPhone 上の Cisco Jabber を手動で Apple Watch と同期させるには、次の手順を実行します。

- a) iPhone で Watch アプリをタップします。
- b) Cisco Jabber アプリを参照して iPhone にダウンロードします。
- c) [マイウォッチ (My Watch)] タブをタップします。
- d) [AppをApple Watchで表示 (Show App on Apple Watch)] をタップしてオンにします。

Cisco Jabber のアンインストール

手順

-
- ステップ 1** iPhone で Watch アプリを開き、[マイウォッチ (My Watch)] タブをタップします。
 - ステップ 2** Cisco Jabber アプリを参照してタップします。
 - ステップ 3** [AppをApple Watchで表示 (Show App on Apple Watch)] をタップして、Apple Watch 上の Cisco Jabber アプリをオフにします。
-

最近の発信者へのコールバック

はじめる前に

- iPhone と Apple Watch がペアリングおよび同期されていることを確認します。
- アカウントで電話サービスが有効になっていることを確認します。

手順

ステップ 1

Cisco Jabber アプリのホームスクリーンで  をタップして、[履歴 (Recents)] リストに通話履歴を表示します。

ステップ 2 Digital Crown を回して、通話履歴に記録されている最近の着信履歴を表示します。

ステップ 3 コールバックする連絡先をタップします。

新しいメッセージへの返信

はじめる前に

iPhone と Apple Watch がペアリングおよび同期されていることを確認します。

手順

ステップ 1

Cisco Jabber アプリのホームスクリーンで  をタップして新しいメッセージを表示します。

ステップ 2 Digital Crown を回して受信済みメッセージのリストをスクロールします。

ステップ 3 返信するカンパセーションをタップします。

ステップ 4 [返信 (Reply)] をタップします。

ステップ 5 次のいずれかの方法で返信できます。

- 送信する応答をタップします。
 - 送信する顔文字をタップします。
 -  をタップして、Siri を使用して応答を送信します。
-

プレゼンス ステータスの設定

はじめる前に

iPhone と Apple Watch がペアリングおよび同期されていることを確認します。

手順

ステップ 1 Cisco Jabber アプリのホームスクリーンで  をタップします。

ステップ 2 プレゼンス ステータスのいずれかのオプションをタップして設定します。

トラブルシューティング

Cisco Jabber



(注) 本書で説明されている機能の一部が社内でサポートされていない場合もあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



(注) 通話の音声品質は、Wi-Fi またはモバイルデータ ネットワーク 接続によって異なります。Cisco Technical Assistance Center (TAC) は、モバイル データ ネットワーク または社外の Wi-Fi ネットワーク を使用している場合の音声品質の問題はトラブルシューティングできません。

サインインの問題

サインインできない場合は、次のトラブルシューティングのヒントを試してみてください。

手順

ステップ 1 サポートされているデバイスとオペレーティング システムを使用しているか確認します。

- ステップ 2** 社外の Wi-Fi ネットワークから社内ネットワークへのアクセス権があることを確認してください。
- ステップ 3** 社外の Wi-Fi ネットワークから社内ネットワークへのアクセス権がある場合は、システム管理者に連絡して、Collaboration Edge 環境が正しく設定されていることを確認してください。
- ステップ 4** 社外の Wi-Fi ネットワークから社内ネットワークへのアクセス権がある場合は、VPN が接続されていることを確認してください (VPN が必要な場合)。VPN が接続されていない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- ステップ 5** 電話サービスを使用している場合は、次の手順に従って、デバイスと社内ネットワーク間のネットワーク接続を確認します。
- インターネットブラウザを開きます。
 - インターネットブラウザに `http://<社内の Cisco Unified Communications Manager サーバアドレス>` の形式で URL を入力して、社内通話システムの管理ページにアクセスします。
- 例：
`http://209.165.200.224`
社内の Cisco Unified Communications Manager サーバのアドレスがわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- 社内通話システムの管理ページにアクセスできない場合は、別のネットワーク アクセス ポイントからアクセスしてみてください。それでも社内通話システムの管理ページにアクセスできない場合は、ネットワークの問題がないかシステム管理者にお問い合わせください。
- ステップ 6** Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service Service リリース 9.1 以前を使用している場合は、次の手順に従って自分のユーザアカウントでサインインできるか確認します。
- `http://<プレゼンス サーバ名>/<CCM ユーザ名>` の形式で URL を入力します。
サーバにアクセスできない場合は、ネットワークの問題がないかシステム管理者にお問い合わせください。
 - 自分のユーザ名とパスワードを使用してサインインします。
サインインに失敗した場合は、システム管理者に連絡してユーザ名とパスワードを確認してください。
- ステップ 7** Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service Service リリース 10.0 を使用している場合は、次の手順に従って自分のユーザアカウントでサインインできるか確認します。
- `http://<CCM サーバ名>/<CCM ユーザ名>` の形式で URL を入力します。
それでもサーバにアクセスできない場合は、ネットワークの問題がないかシステム管理者にお問い合わせください。
 - 自分のユーザ名とパスワードを使用してサインインします。
サインインに失敗した場合は、システム管理者に連絡してユーザ名とパスワードを確認してください。
- ステップ 8** Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service Service を使用している場合は、次の手順に従ってデバイスとサーバの間のネットワーク接続を確認します。
- ping ユーティリティを開いて、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service サーバを ping します。
 - `<プレゼンス サーバ名>.<ドメイン名>.com` の形式でサーバの完全修飾ドメイン名を入力します。

サーバを ping できない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

接続の問題

接続が切断される

連絡先の問題

連絡先の写真が表示されない

問題 Cisco Jabber の連絡先の写真が表示されません。

解決法 次のことを試してください。

- Cisco Jabber で [設定 (Settings)] > [表示 (Display)] をタップし、[連絡先の写真を表示 (Show Contact Photo)] スイッチがオンになっていることを確認します。 オンになっていない場合は、このスイッチをオンにします。
- システム管理者に問い合わせ、プロフィールの写真が有効になっていることを確認します。

プレゼンス ステータス アイコンが灰色表示される

問題 プレゼンス ステータス アイコンが、色の付いていない灰色表示になっています。

解決法 Cisco Jabber で、[設定 (Settings)] > [表示 (Display)] > [ユーザ補助アイコン (Accessibility Icon)] をタップし、この設定をオフにします。

通話の問題

モバイル ネットワークに通話を送信できない

問題 Cisco Jabber VoIP 通話をモバイル ボイス ネットワークに送信できません。

解決法 次の点をチェックします。

- 信号強度が十分なことを確認します。
- 電話で [発信者番号通知 (Show My Caller ID)] 設定が有効になっていることを確認します。 iPhone のホーム画面で [設定 (Settings)] > [電話 (Phone)] > [発信者番号通知 (Show My Caller ID)] をタップして、[発信者番号通知 (Show My Caller ID)] スイッチがオンになっていることを確認します。

発信できない

問題 Wi-Fi ネットワーク経由で VPN を使用して Cisco Jabber 通話を発信できません。

解決法 VPN クライアントがサポートされているかどうか確認します。

ビデオ会議を開始できない

問題 Cisco Jabber からビデオ会議通話を開始できません。

解決法 システム管理者に問い合わせ、電話サービス アカウントのマルチ コントロール ユニットが正しく設定されていることを確認してください。

Dial via Office (DvO) 通話の問題

問題 Dial via Office (DvO) 通話を発信すると、呼び出し先がボイスメール システムまたは異なる番号から通話を受信します。

解決法 次のような場合、DvO 通話を発信すると、呼び出し先がボイスメール システムまたは別の番号から通話を受信することがあります。

- モバイル ボイス ネットワークの接続状態が悪い。この問題を防ぐには、DvO 通話を発信する前に、モバイル ボイス ネットワークの接続状態が良好であることを確認します。
- DvO コールバック番号に携帯電話番号とは異なる電話番号を設定している。この問題を防ぐには、Cisco Jabber の設定で、[DVOコールバック番号 (DvO Callback Number)] を携帯電話番号に変更します。
- 時間内にコールバックに応答せず、デバイスにボイスメールが設定されている。

通話が切断される

問題 Wi-Fi ネットワーク経由で VPN を使用して Cisco Jabber VoIP 通話を発信すると、数秒後に通話が切断されます。

解決法 次の点をチェックします。

- VPN クライアントがサポートされていることを確認します。
- データ ネットワーク信号を確認します。モバイル データ ネットワークを介して Cisco Jabber を使用している場合、接続と通話品質は大幅に異なります。問題が解消しない場合は、モバイルデータネットワーク接続を無効にしてください。Cisco Jabber で [設定 (Settings)] > [通話 (Call)] > [音声とビデオ (Audio and Video)] をタップします。[モバイルデータネットワーク (Mobile Data Network)] スイッチをタップしてオフにします。

通話オプションが表示されない

問題 Cisco Jabber の [設定 (Settings)] メニューに通話オプションが表示されません。

解決法 管理者が Dial via Office 機能を有効にしている必要があります。有効でない場合は、[設定 (Settings)] メニューに通話オプションが表示されません。詳細については、管理者に連絡してください。

音質が低い、よく聞こえない

問題 音質が低かったり、突然音が聞こえなくなったり、音声がよく聞こえなくなったりします。

解決法 次の点をチェックします。

- **ワイヤレス信号が弱い**：デバイスのアンテナバーを確認して、Wi-Fi 接続の信号強度が十分であることを確認します。信号が弱い場合は、モバイルネットワークに通話を移動することを検討してください。通話中に  をタップした後、[携帯電話に移動 (Move to Mobile)] をタップします。[OK] をタップして [応答 (Answer)] をタップします。
- **モバイルデータネットワークに接続**：モバイルデータネットワークを介して Cisco Jabber を使用している場合、接続と通話品質は大幅に異なります。問題が解消しない場合は、モバイルデータネットワーク接続を無効にしてください。Cisco Jabber で [設定 (Settings)] > [通話 (Call)] > [音声とビデオ (Audio and Video)] をタップします。[モバイルデータネットワーク (Mobile Data Network)] スイッチをタップしてオフにします。
- **Bluetooth と Wi-Fi の干渉**：最適に設計された Wi-Fi ネットワークでも、Bluetooth ヘッドセットなどの他のデバイスによる干渉が発生することがあります。この干渉が Cisco Jabber での通話の切断や低音質の原因となっていることがあります。Bluetooth ヘッドセットをオフにして、問題が解消するかどうかを確認します。
- **Wi-Fi アクセスポイント間でのハンドオフ**：職場内を移動すると、Wi-Fi 接続が異なるアクセスポイント間で転送されることがあります。接続がアクセスポイント間で転送される間に通話に応答すると、音声为数秒間不明瞭になったり、聞こえなくなったりする場合があります。ハンドオフが完了すると、この問題は自動的に解決します。
- **電話サービスへの接続の切断**：一般的な原因として、ネットワークに問題が発生したか、サーバが一時的に停止したことが考えられます。問題が解消しない場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- **ネットワークの帯域幅の低下**：低帯域幅のワイヤレスネットワークを介して通話を行う場合は、低帯域幅ネットワーク用に接続を最適化してから、もう一度試してください。Cisco Jabber で [設定 (Settings)] > [通話 (Call)] > [音声とビデオ (Audio and Video)] をタップします。[低帯域幅モード (Low Bandwidth Mode)] スイッチをタップしてオンにします。

片通話

問題 Wi-Fi ネットワーク経由で VPN を使用して Cisco Jabber 通話を発信するときに、通話の音声が一方向にしか聞こえません。

解決法 VPN クライアントがサポートされていることを確認します。

ヘッドセットから音声が聞こえない

問題 ヘッドセットを使用した通話中に、ヘッドセットの音量を上げても相手の声が聞こえません。

解決法 ヘッドセットの音量と Cisco Jabber の音量は、それぞれ別のものです。Cisco Jabber の音量設定を上げる必要があります。

それには、Cisco Jabber を起動し、ヘッドセットを接続した状態で、デバイスの音量ボタンを使用して音量設定を調整します。

ネイティブの電話アプリで通話を受信したときに音声が聞こえない

問題 ネイティブの電話アプリで通話を受信したときに、Cisco Jabber VoIP 通話の音声は聞こえません。

解決法 ネイティブの電話アプリで新しくモバイル通話を受信したとき、すでに Cisco Jabber VoIP で通話中の場合は、その新しい通話を拒否することを推奨します。

- 1 [拒否 (Decline)] をタップします。
- 2 [再開 (Resume)] をタップして Cisco Jabber VoIP 通話を再開します。

ネイティブの電話アプリで着信通話を受信した場合は、そのアプリが Cisco Jabber を含む他のすべてのアプリのマイクを自動的に無効にします。

マイクが無効になる前に、現在の通話相手へ別の通話に応答する必要があることを知らせる時間はありません。

新しい通話を拒否して Cisco Jabber VoIP 通話を再開すると、現在の通話相手に再び音声聞こえるようになります。

新しい通話を受け入れた場合は、ネイティブの電話の通話が終了するまで Cisco Jabber VoIP 通話に戻ることはできません。

ボイスメールの問題

ボイスメール クレデンシャルの問題

問題 ユーザ名またはパスワードが間違っているエラーのために、ボイス メッセージへアクセスできません。

解決法 サポートが必要な場合は、ボイスメール管理者にお問い合わせください。ボイスメール管理者は、サーバの設定を確認したり、ユーザのパスワードをリセットしたりすることができます。

一部のボイス メッセージが表示されない

問題 社内ネットワークに接続されていないときに、一部のビジュアル ボイス メッセージを表示できません。

解決法 ボイス メッセージの更新、およびセキュアなボイス メッセージの再生を行うには、Cisco Jabber を社内ネットワークに接続する必要があります。保存済みボイス メッセージは、社内ネットワークに接続していなくても再生できます。

バッテリーの問題

バッテリーが急速に消耗する

問題 Cisco Jabber を使用すると、デバイスのバッテリーが急速に消耗します。

解決法 バッテリーの消耗を緩和するには、次の項目を確認してください。

- [詳細ログ (Detailed Logging)] : このオプションは、Cisco Jabber を使用して問題を解決するためのトラブルシューティングに必要な詳細情報を収集する場合にのみ有効にします。それ以外のときは、無効にしてください。Cisco Jabber で、[設定 (Settings)] > [問題レポートツール (Problem Reporting)] をタップします。[詳細ログ (Detailed Logging)] スイッチをタップしてオフにします。
- 3G または Wi-Fi の接続状態が悪いと、バッテリー寿命に影響を与えることがあります。ネットワーク信号が強い場所に移動してください。

Apple Watch の問題

アプリがインストールされない

問題 Cisco Jabber アプリをインストールしても、Apple Watch に表示されない。

解決法 Watch アプリの設定で、[AppをApple Watchで表示 (Show App on Apple Watch)] がオンになっていることを確認します。

発信できない

問題 Apple Watch で Cisco Jabber アプリから通話を発信できない。

解決法

- Apple Watch が iPhone に接続されていることを確認します。
- アカウントで電話サービスが有効になっていることを確認します。

メッセージを送信できない

問題 Apple Watch で Cisco Jabber アプリからメッセージを送信できない。

解決法

- 問題のレポートを送信します。
- Cisco Jabber アプリを Apple Watch に再インストールします。

着信または IM の通知がない

問題 着信または IM の通知が受信されない。

解決法

- iPhone がロックされていることを確認します。
- Apple Watch に watchOS 2 がインストールされていることを確認します。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記供給者は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、あるいは、取り扱い、使用、または取引慣行によって発生するあらゆる保証に関して、明示的、黙示的を問わず責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>